



1. 身の安全の確保



地震発生！



あわてず、まず身の安全を！

安全確保行動1-2-3

「まず低く、頭を守り、動かない」



(提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)

室内にいる時



- あわてて外に飛び出さない
- 無理に火を消そうとしない

外出中の時



- ブロック塀・電柱などから離れる
- 割れたガラスなどの落下物に注意

運転中の時



- ハザードランプを点灯して、周りの車に注意をながす
- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす

鉄道・バスに乗車中



- つり革や手すり等につかりとつかまる

エレベーターに乗っている時



- 最寄りの階に停止させ、すぐに降りる

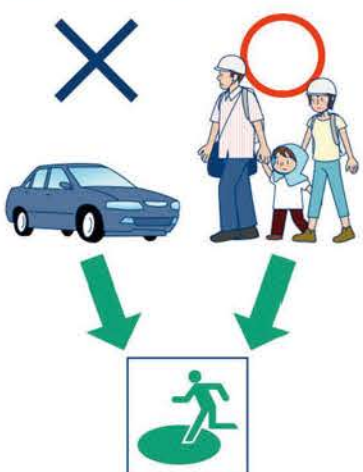
2. 避難の判断



正しい情報に基づいた判断を

- 災害が発生したときにはデマが飛び交いがち
テレビ、ラジオ、市役所からの情報に注意し、**正しい状況の把握**に努める
- 市役所から避難の指示等が出たらそれに従う
- 身の周辺に危険が迫っていると判断した場合は、ためらうことなく避難する

3. 避難方法



避難するときに車を使うと
混乱をきたすことも

- 避難するときは**原則として徒歩で避難する**、
車を使うと渋滞を引き起こし消防・救急活動に支障をきたすことも
- 普段歩いている道も混乱して**歩きにくくなっている恐れ**がある
- 荷物は背負えるもの、服装は動きやすいものにする

家を出る時の注意点



- 外に出るときも**周囲の確認**をする
ガラスや看板等が落ちてくる可能性も
- 避難するときには、**電気のブレーカー**を切り、**ガスの元栓**を閉める
- 自宅の安全を確認後、近所にも**声をかけて**安否を確認する

避難するときも周囲を確認する
思わぬ事故に遭う恐れも